

金沢大学バックアップポリシー

171001 修正
教育戦略会議

金沢大学は、大学憲章に謳われた教育の理念に基づき、多様性と包摂性を重視する立場から、すべての学生が、いかなる差異、いかなる困難にもかかわらず、できる限り等しい条件の下で教育の果実に与ることができるよう、経済的支援、自律的生活の支援、社会的責任の自覚の涵養などを含めた包括的な学生支援を行う。本学は、学生支援の旗幟を鮮明にするため、その包括的支援の枠組みを、3つのポリシー（DP・CP・AP）の実現を学修環境面から支えるバックアップ・ポリシー（BP）として、以下の通り定める。

1. 学修支援

すべての学生が、他者とともに学びあうことによって、学びを自己選択し主体的に学びに参画する自律的学修者（アクティブラーナー）となることを、学修者中心主義の立場から支援する。

2. キャリア形成支援

すべての学生が、広い視野と情報分析能力を獲得して、自律的に自らのキャリア（進路）を選択し、自ら選択した職業を通してよりよい社会を実現しようとする（社会への巣立ち）を支援する。

3. ヘルスケア支援

すべての学生が、心身の健康のチェック、心の成長を支える学生相談、健康増進に資する学びなど、健康の自律的な向上を目指す全学的な支援体制の整備によって、心身の健康を実現することを支援する。

4. 障がい学生支援

障がいの故に様々な困難を抱えるすべての学生が、必要かつ適切な合理的配慮によって、他のすべての学生と等しく自律的学修者となることを支援する。

5. 性的マイノリティ支援

性的指向（Sexual Orientation）や性自認（Gender Identity）を理由とする差別や偏見に苦しむすべての学生が、性の多様性を認め、互いの人格を尊重しあえるキャンパス環境の整備によって、他のすべての学生と等しく自律的学修者となることを支援する。

さらに本学は、FD・SD活動の実施、支援介入度の基準設定などの全学的な支援体制の整備によって、1～5の支援に携わる教職員、支援学生スタッフ等、すべての支援担当者が持続可能で質の高い活動を行うことを支援する。